市　の　財　政

CHIBA CITY
100th ANNIVERSARY
百の歴史を、千の未来へ

令 和 3 年 6 月

千葉市

目　　次

Ⅰ　令和２年度下半期における予算の執行状況 ―――― 1

Ⅱ　市民負担の状況 ―――― 3

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高 ―――― 4

Ⅳ　企業会計の下半期の業務状況 ―――― 6

Ⅴ　令和３年度当初予算の概要 ―――― 9

表紙イラストの説明

≪市制１００周年記念事業ロゴマーク・キャッチフレーズ≫

2021（令和3）年1月1日、千葉市は市制100周年を迎えました。
この大きな節目にあたり、都市としての成長のあゆみを振り返り、先人たちの業績に感謝するとともに、本市が日本の中で果たしてきた役割やその価値を見つめ直し、いかに未来へ継承、発展させていくのかを考え、行動する機会となるような取り組みを進めていきます。

※数値については、百万円単位で整理してあります。
表示単位未満を四捨五入してあるので割合・一人あたりの金額・合計等が一致しない場合があります。

「千葉市財政状況の公表に関する条例」に基づき、市の財政状況について公表します。

Ⅰ　令和２年度下半期における予算の執行状況

令和3年3月31日現在

一　般　会　計

令和2年度の歳入歳出予算は、当初4,636億円で、前回（12月）公表時点では、6,007億6,100万円でしたが、その後12月、1月及び2月に補正を行い、207億6,400万円を増額しましたので、最終予算現額は、6,215億2,500万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で2,375億7,500万円、累計額で5,212億100万円となり、一方、支出総額で1,748億6,300万円、累計額で4,500億500万円となっています。

特　別　会　計

企業会計を除く14の特別会計の総予算は、当初3,229億1,900万円で、前回（12月）公表時点では、3,252億100万円でしたが、その後12月及び2月に国民健康保険事業特別会計他で補正を行い、5,000万円を増額しましたので、最終予算現額は、3,252億5,100万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,097億6,300万円、累計で2,121億6,600万円となり、一方、支出総額で1,477億4,500万円、累計で2,689億4,900万円となっています。

一般会計と特別会計の令和3年3月31日現在の予算執行状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	会計名	予算現額 当初予算額	予算現額 補正予算額（上期）	予算現額 補正予算額（下期）	予算現額 繰越事業繰越額	予算現額 計	歳入 収入済額（累計）	歳入 収入割合（累計）	歳出 支出済額（累計）	歳出 支出割合（累計）
一般会計		463,600	120,198	20,764	16,963	621,525	521,201	83.9 %	450,005	72.4 %
特別会計	国民健康保険事業	82,521	68	633	－	83,221	73,609	88.4	75,200	90.4
	介護保険事業	72,277	831	－	－	73,107	58,673	80.3	65,029	89.0
	後期高齢者医療事業	13,010	－	4	－	13,015	12,575	96.6	10,573	81.2
	母子父子寡婦福祉資金貸付	271	－	－	－	271	393	144.8	195	71.9
	霊園事業	800	－	－	－	800	507	63.3	677	84.5
	農業集落排水事業	908	－	－	148	1,056	469	44.4	559	53.0
	競輪事業	10,487	－	△ 87	－	10,400	8,138	78.2	8,060	77.5
	地方卸売市場事業	1,364	－	－	－	1,364	669	49.0	711	52.1
	都市計画土地区画整理事業	1,132	－	△ 500	212	844	142	16.8	355	42.0
	市街地再開発事業	1,072	－	－	－	1,072	52	4.9	20	1.9
	動物公園事業	1,278	14	－	509	1,801	328	18.2	1,117	62.0
	公共用地取得事業	881	－	－	340	1,221	2	0.1	259	21.2
	学校給食事業	8,781	160	－	－	8,941	3,572	40.0	7,391	82.7
	公債管理	128,137	－	－	－	128,137	53,039	41.4	98,804	77.1
	小計	322,919	1,072	50	1,209	325,251	212,166	65.2	268,949	82.7
合計		786,520	121,270	20,814	18,173	946,777	733,367	77.5	718,953	75.9

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので合計欄及び割合が一致しない場合があります。

今期中の補正予算の主な内容は次のとおりです。（　）内金額は債務負担行為です。

12　月　補　正　予　算

一　般　会　計	**42億7,400万円**	
学校施設の環境整備	39億3,400万円	学校施設の外壁及びトイレ改修
特　別　会　計	**5億600万円**	
病院事業	5億200万円	病院事業への繰出金

12　月　補　正　予　算　（追加議案）

一　般　会　計	**3億9,100万円**	
ひとり親世帯への支援	3億9,100万円	ひとり親世帯支援のため、臨時特別給付金を再支給

1　月　補　正　予　算　（専決処分）

一　般　会　計	**34億7,200万円**	
新型コロナワクチン接種	30億9,000万円	ワクチン接種体制の整備等
医療機関への支援	3億円	医師等のコロナウイルス感染により病棟を閉鎖する医療機関に対する支援
高齢者施設等PCR検査等費用助成	8,200万円	PCR検査等費用の助成

2　月　補　正　予　算

一　般　会　計	**126億2,700万円**	
積立金	47億8,700万円	財政調整基金等への積立
道路・街路の整備	20億6,800万円	道路施設の長寿命化、電線共同溝整備、塩田町誉田町線他2路線の街路整備等
教育施設の整備	10億1,300万円	学校施設の大規模改修及び耐震改修
特　別　会　計	**23億4,400万円**	
下水道事業	19億7,800万円	下水道施設耐震化、浸水対策工事等

一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。
特別会計	特定の目的のために設けられた会計をいいます。千葉市では国民健康保険事業ほか13の会計が条例で設置されています。 また、病院事業、下水道事業、水道事業は企業会計と呼び、地方公営企業法に基づき、独立採算を原則として設置された特別会計で、他の特別会計とは区別しています。
補正予算	予算の編成後に生じた理由によって、既定予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立した予算をいいます。

Ⅱ　市　民　負　担　の　状　況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約４割を占めています。

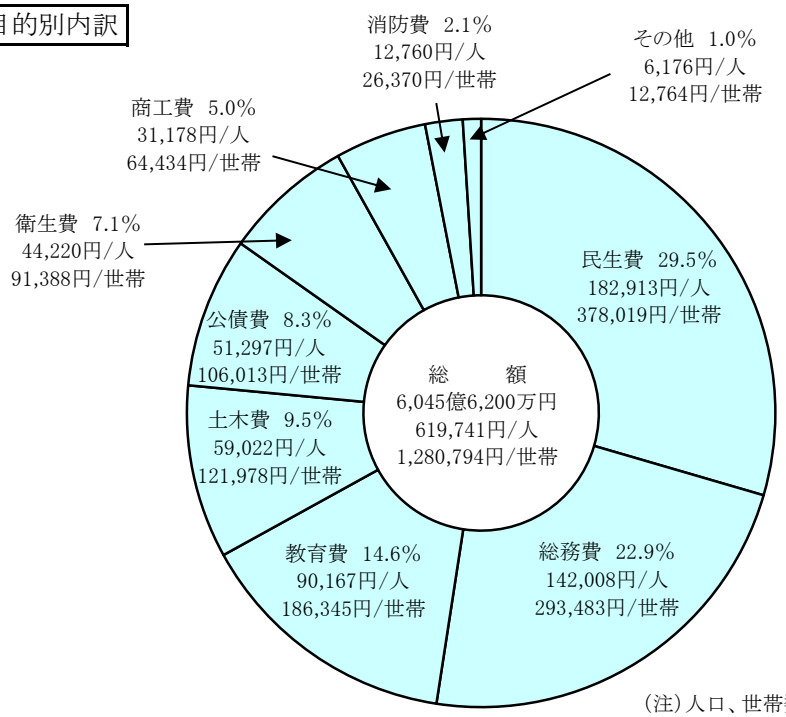
令和3年3月末の予算額でみますと、市税の予算額は、1,984億4,300万円(滞納繰越分と国有資産等所在市町村交付金を除く。)となっていますので、これを令和3年3月末の人口（975,508人）及び世帯数（472,021世帯）で割りますと、市民１人あたり203,426円、１世帯あたり420,412円の負担となっています。

また､市民のために使われる経費（これを行政経費といいます。ただし、歳出予算現額から繰越額を除く。）は、市民１人あたり619,741円、１世帯あたり1,280,794円となっています。

なお、行政経費と市税負担額の差額は、市債や国庫支出金等市税以外の歳入で対応しています。

市民１人あたりの市税負担額・・・・・・・	203,426 円	うち市民税	107,227 円
		うち固定資産税	69,949 円
		その他	26,250 円
１世帯あたりの市税負担額・・・・・・・・	420,412 円	うち市民税	221,602 円
		うち固定資産税	144,560 円
		その他	54,250 円
市民１人あたりの行政経費・・・・・・・・	619,741 円		
１世帯あたりの行政経費・・・・・・・・・・	1,280,794 円		

行政経費の目的別内訳



(注)人口、世帯数は住民基本台帳登録による。

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高

令和3年3月31日現在

財　産　の　現　在　高

公　有　財　産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用、または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と、普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）とに区分されます。企業会計を除く公有財産の現在高は次のとおりです。

区分			土地	建物	船舶	浮標	浮桟橋	航空機	有価証券	出資による権利
			㎡	㎡	隻	個	個	機	百万円	百万円
公有財産	行政財産	公用	1,265,408.94	257,225.27	1	－	－	2	－	－
		公共用	13,603,256.98	2,268,340.45	－	4	9	－	－	－
		計	14,868,665.92	2,525,565.72	1	4	9	2	－	－
	普通財産		813,259.22	97,443.51	－	－	－	－	1,182	2,518
合計			15,681,925.14	2,623,009.23	1	4	9	2	1,182	2,518

基　　金

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。

（単位：百万円）

区分	現在高		設置目的
財政調整基金	8,929		財政の健全な運営に資するため
市債管理基金	108,163	(20,200)	市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理のため
文化基金	32		市民文化の振興を図るため
社会福祉基金	602		社会福祉の増進を図るため
緑と水辺の基金	2,981	(2,600)	緑と水辺を生かした快適な都市環境を創造するため
地域環境保全基金	341		地域の環境の保全及び創造に資するため
市庁舎整備基金	3,260	(1,540)	市庁舎整備事業に必要な経費に充てるため
リサイクル等推進基金	2,532		廃棄物の減量、再利用及び適正処理を推進するため
地下水浄化事業推進基金	3		地下水の水質浄化事業を推進するため
都市モノレール基金	1,107		都市モノレール施設の更新等に必要な経費に充てるため
千葉マリンスタジアム基金	121		ZOZOマリンスタジアムに係る施設の充実及び地域交流の活性化を図るため
東日本大震災復興基金	8		東日本大震災からの復興に関する事業の資金に充てるため
教育みらい夢基金	91		夢と思いやりの心を持ちチャレンジする子どもの育成や学校施設整備等の資金に充てるため
東日本大震災復興交付金基金	0		東日本大震災復興特別区域法に規定する復興交付金事業等に必要な経費の財源に充てるため
スポーツ振興基金	8		スポーツの振興のための事業に必要な経費の財源に充てるため
美術品等取得基金	1,030	(400)	美術館に収蔵する美術品等を円滑に取得するため
介護給付準備基金	5,070		介護保険事業に係る財政の中期的な調整を図るため
競輪事業運営基金	0		競輪場の施設の整備及び競輪事業の健全な運営のため
国民健康保険財政調整基金	1,123		国民健康保険の健全な財政運営に資するため
競輪事業施設整備基金	952		競輪事業に必要な施設の整備のため
合計	136,355	(24,740)	

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、合計が一致しない場合があります。
（注）現在高欄にある（　）内の額は、基金残高のうち一般会計への貸付分になります。
（注）東日本大震災復興交付金基金は、事業終了に伴い令和3年3月末をもって廃止となります。

市債の現在高

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の市税や国庫補助金のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といいますが、これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備も可能となります。

（単位：百万円）

区分	現在高	借入先				
		公的資金				民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	その他	
一般会計	666,850	36,705	6,021	76,695	112	547,317
特別会計	22,783	2,086	5	1,740	1,934	17,018
市街地再開発事業	7,456	53	0	0	0	7,403
公共用地取得事業	3,234	0	0	0	0	3,234
その他	12,093	2,033	5	1,740	1,934	6,381
合計	689,633	38,791	6,026	78,435	2,046	564,335

（注）現在高には、市債管理基金積立額は含みません。

（注）企業会計分の市債の現在高は、Ｐ８に掲載しています。

一時借入金の現在高

年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足を生じた場合に、その不足を補うために、銀行等から予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を一時借入金といい、その状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	予算で定めた限度額	前期末残高	今期中借入高累計	今期中償還高累計	今期末残高	今期中最高借入額
一般会計	50,000	0	0	0	0	0

Ⅳ　企業会計の下半期の業務状況

令和3年3月31日現在

事業の概況

病院事業

青葉病院及び海浜病院の今期中の入院及び外来患者数の利用総数は、239,381人となっています。

区分	病床数	今期中の患者利用状況				診療科目
		入院患者数	1日平均	外来患者数	1日平均	
	床	人	人	人	人	
青葉病院	369 (369)	51,770 (56,841)	284 (311)	96,650 (103,993)	799 (874)	内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、感染症内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、救急科
海浜病院	293 (293)	32,380 (33,443)	178 (183)	58,581 (66,452)	484 (558)	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、感染症内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、小児科、小児科(新生児)、小児外科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、病理診断科、救急科

(　)は前年同期の状況です。

下水道事業

今期中の有収水量は、49,138,430m^{3}となっています。

行政区域内人口	975,508 人	整備区域内人口	950,268 人
下水道処理人口普及率	97.4 %		
接続戸数	458,089 戸	うち今期中増加接続戸数	4,105 戸
接続人口	946,333 人	うち今期中増加接続人口	1,818 人
整備面積	12,291 ha	うち今期中増加整備面積	2 ha
今年度接続助成件数	3 件	うち今期中接続助成件数	0 件

水道事業

今期中の給水量は、2,422,304m^{3}となっています。

計画給水人口	78,100 人	給水区域内人口	55,338 人
給水普及率	82.8 %		
給水戸数	20,004 戸	うち今期中増加給水戸数	93 戸
給水人口	45,830 人	うち今期中減少給水人口	171 人

配水状況

区分	前期中	今期中	計
給水量	2,440,998 m^3 (2,369,898)	2,422,304 m^3 (2,370,480)	4,863,302 m^3 (4,740,378)
有収水量	2,389,243 m^3 (2,338,624)	2,389,915 m^3 (2,297,779)	4,779,158 m^3 (4,636,403)

(　)は前年同期の状況です。

経 理 の 概 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の予算執行状況は次のとおりとなっています。

なお、表に使われている収益的収支とは、医療サービス、汚水の処理、水の供給のように経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

病 院 事 業

（単位：百万円）

区 分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	22,017	92	206	－	22,316	23,406	104.9%		
収益的支出	22,435	92	822	485	23,834			22,133	92.9%
資本的収入	3,229	－	－	－	3,229	2,943	91.1%		
資本的支出	3,269	－	－	258	3,527			3,015	85.5%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

下 水 道 事 業

（単位：百万円）

区 分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	30,633	－	－	－	30,633	29,835	97.4%		
収益的支出	29,626	－	－	－	29,626			28,535	96.3%
資本的収入	17,947	－	1,943	6,115	26,005	15,929	61.3%		
資本的支出	29,323	－	1,978	6,155	37,456			27,151	72.5%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

水 道 事 業

（単位：百万円）

区 分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	2,195	－	－	－	2,195	2,110	96.1%		
収益的支出	2,177	－	－	－	2,177			2,089	96.0%
資本的収入	1,068	－	－	45	1,113	1,011	90.8%		
資本的支出	1,545	－	－	47	1,592			1,506	94.6%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

市債の現在高

（単位：百万円）

企業会計名	現在高	借入先			
		公的資金			民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	
病院事業	16,272	9,498	978	3,581	2,215
下水道事業	223,861	45,268	27,399	91,153	60,041
水道事業	16,114	11,535	0	3,673	905
合計	256,247	66,301	28,377	98,407	63,161

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、合計等が一致しない場合があります。

（注）起債前借分を含めています。

一時借入金の現在高

（単位：百万円）

企業会計名	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入高	今期中償還高	今期末残高
病院事業	5,000	0	0	0	0
下水道事業	15,000	0	2,800	2,800	0
水道事業	1,000	0	0	0	0

（注）起債前借分については除外しています。

長期借入金の現在高

（単位：百万円）

企業会計名	借入先	前期末残高	今期中借入高	今期中償還高	今期末残高
病院事業	一般会計	1,200	0	0	1,200
下水道事業	－	－	－	－	－
水道事業	－	－	－	－	－

Ⅴ　令和３年度当初予算の概要

１　編成の基本的考え方

令和3年度予算の編成にあたっての収支見通しでは、歳入において、自主財源の根幹を占める市税が、新型コロナウイルス感染症の影響による個人所得や企業収益の落ち込みから大幅な減少が避けられず、リーマンショック時を超える減収も懸念されることに加え、国庫補助負担金や地方交付税などについては、国の予算編成の動向を見極める必要がありました。

また、市債の活用については、健全化判断比率などへの影響を考慮する必要があったほか、財産収入などの臨時的な収入も多くを見込めない状況でした。

一方、歳出では、新型コロナウイルス感染症へ対応するための新たな財政需要とともに、少子・超高齢社会の到来や保育・子育て環境の向上に伴う社会保障関係経費の増加が見込まれ、予算編成方針を策定した昨年10月の時点では、極めて厳しい財政見通しとなっていました。

このような中、令和3年度当初予算編成においては、市長の退任が見込まれていたため、新市長の政策を実現できる余地を残しつつ、新型コロナウイルス感染症対策など、継続的に実施すべき内容を中心とする準骨格予算として編成を行うこととし、次の2項目を基本方針として取り組むこととしました。

（１）財政健全化に向けた取組み及び行政改革の推進

財政健全化プラン及び行政改革の取組みを着実に推進するとともに、改善策については、的確に予算に反映させることとし、特に、既存の事務事業については、適宜、事業効果や必要性について検証を行い、状況に応じて見直しを図ります。

（２）重点施策の推進

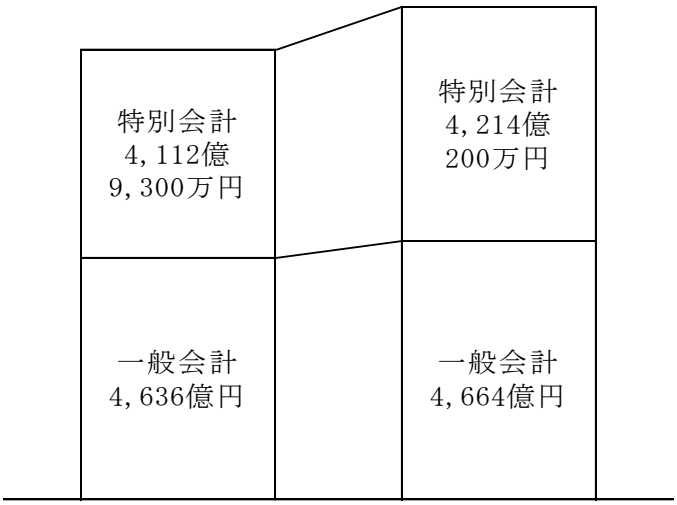
従来から重点的に取り組んでいる、医療、介護、子育て、教育、防災、都市づくりなどを中心に、市民生活の向上や本市の発展につながる施策について、事業費の精査を行ったうえで、事業の着実な推進を図ります。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会と、大会を契機とした社会変容を見据え、地方創生など本市のさらなる発展に向けた取組みを推進します。

2　予算の内容

(1) 予算の規模

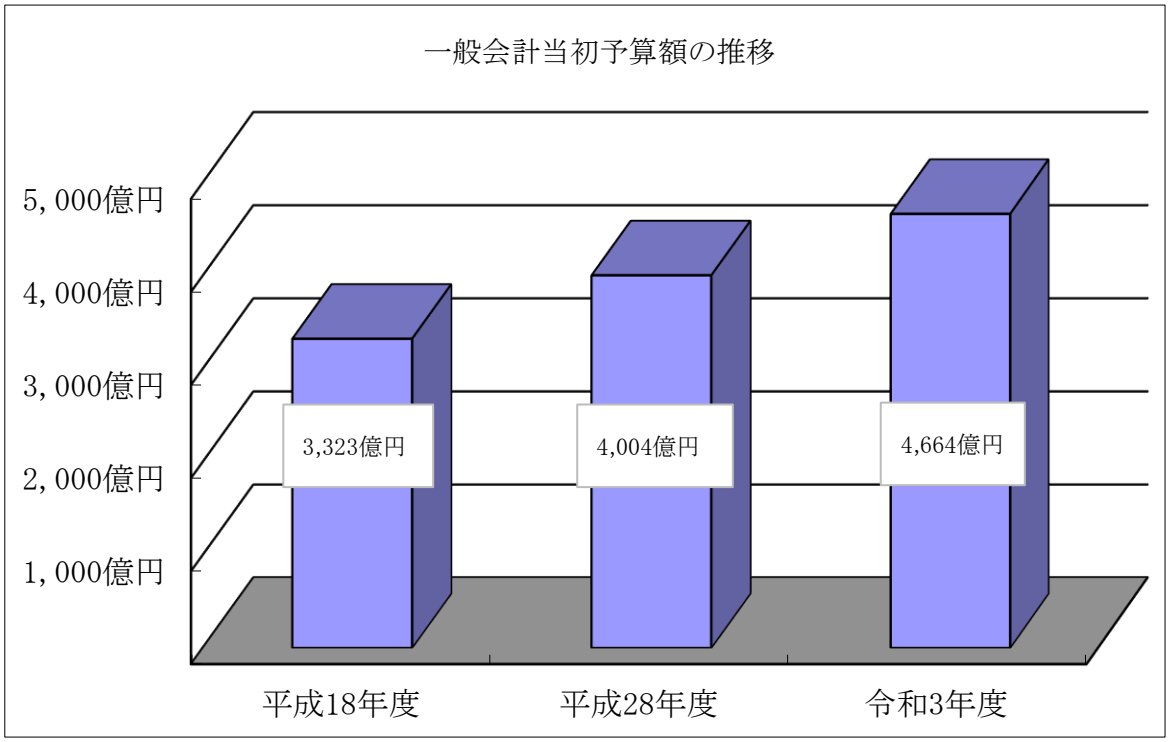
令和2年度	令和3年度
8,748億9,300万円	8,878億200万円 （対前年度比1.5%増）



令和3年度一般会計の歳入歳出予算は、4,664億円で、前年度と比較して28億円、0.6%の増となっています。

特別会計（企業会計を含む）17会計は、公債管理特別会計や介護保険事業特別会計などで増額となることから、総額4,214億200万円で、前年度と比較して101億900万円、2.5%の増となっています。

以上、全会計を合わせた規模は、8,878億200万円で、前年度と比較して129億900万円、1.5%の増となっています。



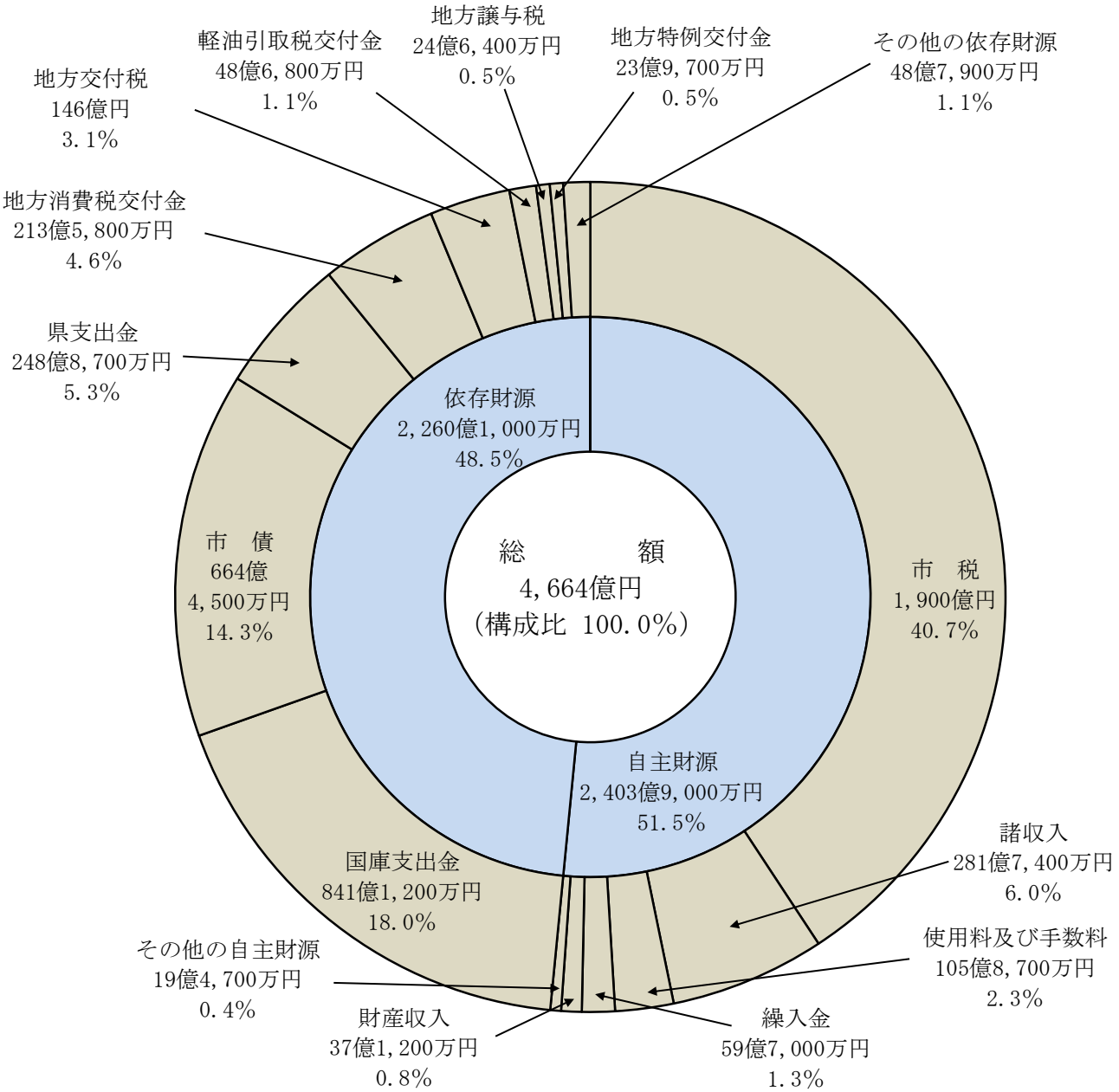
(2) 一般会計予算

（ 歳 入 ）

歳入予算の主なものとしては、市税が1,900億円、構成比40.7％と、歳入の根幹を成しています。

次いで、国庫支出金が841億1,200万円、構成比18.0％となっています。

この他、市債664億4,500万円、構成比14.3％、諸収入281億7,400万円、構成比6.0％となっており、以下、県支出金、地方消費税交付金、地方交付税、使用料及び手数料の順となっています。



自主財源と依存財源

・自主財源とは、市税や使用料等のように市が自主的に収入するものです。

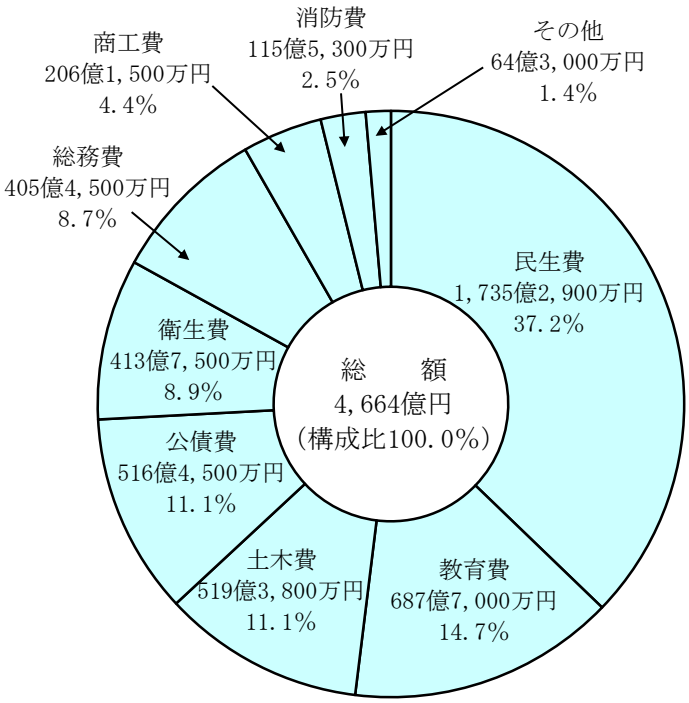
・依存財源とは、国庫支出金や県支出金、市債等のように国や県の意思決定に基づいて収入されるものです。

市税の主な内訳

税　目	予算額	構成比
市　民　税	967億900万円	50.9%
固 定 資 産 税	676億8,100万円	35.6%
都 市 計 画 税	126億5,900万円	6.6%
市 た ば こ 税	64億1,600万円	3.4%
事 業 所 税	52億5,600万円	2.8%
そ　の　他	12億7,900万円	0.7%
計	1,900億円	100.0%

（ 歳 出 ）

目的別の内訳



歳出予算の主なものとしては、民生費が最も多く、1,735億2,900万円、構成比37.2%となっています。

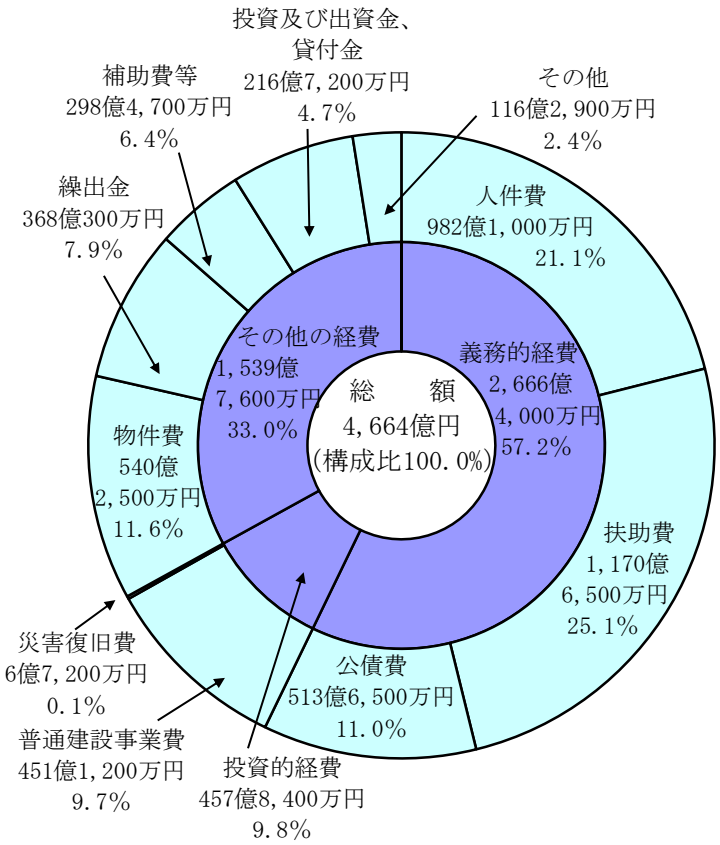
次いで、教育費が687億7,000万円、構成比14.7%、土木費が519億3,800万円、構成比11.1%、以下、公債費、衛生費、総務費、商工費、消防費の順となっています。

目的別経費と性質別経費

目的別経費とは、どのような行政上の目的のために費やされるかという基準により分類されるもので、議会費、教育費、土木費等をいいます。

性質別経費とは、具体的な行政目的がどのようなものであるかにかかわりなく、その経費がどのような性質を有するかという点に着目して分類するもので、人件費、物件費、維持補修費等をいいます。

性質別の内訳



財政構造の面から歳出予算を性質別でみますと、義務的経費が 2,666億4,000万円、構成比57.2%となっています。

投資的経費は、457億8,400万円、構成比9.8%で、その大部分が普通建設事業費となっています。

その他の経費は、1,539億7,600万円、構成比33.0%となっています。

義務的経費と投資的経費

義務的経費とは、極めて硬直性の強い経費であって、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費をいいます。

投資的経費とは、支出効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るもので、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費をいいます。

(3) 特別会計予算

令和3年度の企業会計を除く特別会計14会計の予算総額は、3,328億5,600万円となっています。

主な会計としては、公債管理が1,350億4,500万円、国民健康保険事業が819億7,700万円、介護保険事業が742億2,500万円、後期高齢者医療事業が134億8,200万円となっています。

（単位：百万円）

区分 会計名	令和３年度 当初予算額 (A)	令和２年度 当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)／(B) (D)
公債管理	135,045	128,137	6,908	5.4%
国民健康保険事業	81,977	82,521	△ 544	△ 0.7%
介護保険事業	74,225	72,277	1,948	2.7%
後期高齢者医療事業	13,482	13,010	472	3.6%
競輪事業	11,453	10,487	966	9.2%
学校給食事業	8,975	8,781	194	2.2%
公共用地取得事業	1,365	881	484	55.0%
地方卸売市場事業	1,322	1,364	△ 42	△ 3.1%
動物公園事業	1,237	1,278	△ 41	△ 3.3%
都市計画土地区画整理事業	1,116	1,132	△ 16	△ 1.4%
市街地再開発事業	1,007	1,072	△ 65	△ 6.1%
霊園事業	806	800	6	0.7%
農業集落排水事業	586	908	△ 322	△ 35.5%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	260	271	△ 11	△ 4.2%
合計	332,856	322,919	9,937	3.1%

(4) 企業会計予算

令和3年度の企業会計の予算総額は、885億4,600万円となっています。

（単位：百万円）

区分 / 会計名		令和３年度当初予算額 (A)	令和２年度当初予算額 (B)	増減額 (A)－(B) (C)	増減率 (C)／(B) (D)
病院事業		26,449	25,704	745	2.9 %
	収益的支出	22,788	22,435	353	1.6
	資本的支出	3,661	3,269	392	12.0
下水道事業		58,010	58,948	△ 938	△ 1.6
	収益的支出	29,537	29,625	△ 88	△ 0.3
	資本的支出	28,473	29,323	△ 850	△ 2.9
水道事業		4,087	3,722	365	9.8
	収益的支出	2,135	2,177	△ 42	△ 1.9
	資本的支出	1,952	1,545	407	26.4
合計		88,546	88,374	172	0.2
	収益的支出	54,460	54,237	223	0.4
	資本的支出	34,087	34,137	△ 50	△ 0.1

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄、割合及び増減額が一致しない場合があります。

令和３年度の経営方針

病院事業

令和3年度の業務の予定量は、青葉病院が入院患者で104,303人、外来患者で175,636人であり、また海浜病院は入院患者で61,834人、外来患者で113,076人を予定しています。地域の中核的な病院として、市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供していきます。

下水道事業

令和3年度の業務の予定量は、汚水処理世帯数454,247世帯、総処理水量127,084,230m^3、１日平均処理水量348,176m^{3}を予定しています。

また、「安全・安心で快適な生活を支える下水道」を目指し、浸水対策や地震対策を着実に推進するとともに、下水道施設の改築更新、未普及地域の解消に取り組んでいきます。

なお、運営にあたっては、「健全な経営に基づいた持続可能な下水道」として、良質で持続可能な下水道サービスを提供するため、更なる経営基盤の強化に努めます。

水道事業

令和3年度の業務の予定量は、給水戸数20,224戸、総給水量4,667,985m^3（１日平均給水量12,789m^3）を予定しています。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減を図り、効率的な事業経営に努めていきます。

令和３年６月

市の財政（財政状況の公表）

令和３年６月１日発行

編集発行　　千葉市財政局財政部財政課

千葉市中央区千葉港１番１号
電話 043（245）5075

この印刷物は再生紙を使用しています。

※本市の予算・決算など、財政に関するその他の資料については、財政課ホームページをご覧ください。
http://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/zaisei/index.html